

茨城県立友部養護学校 (学校長 鶴見 美紀)

実施日	平成19年12月5日(水)	時間	午前9時30分～午後1時30分
実施場所	体育館, 会議室, プレイルーム	対象/人数	小学部3～6年生51名, 中学部29名
担当教諭	鶴田 美代子, 松本 嘉行	ファシリテーター	関 二夫
講師	パク ミイジョン(韓国) オレリアン パロン(フランス 県国際交流員) ジョナサン マイケルズ(アメリカ 県国際交流員)		

活動内容

韓国・フランス・アメリカの国紹介(国旗やパネル・写真・民族衣装などを用いて)
 3～4年生: フランス: ゲームをしたりパフォーマンスを見たり。
 5～6年生: 韓国: チヂミ作り、試食
 中学部: アメリカ: スクエアダンスをみんなで踊ったり、英語でじゃんけん

児童の感想

・ワールドキャラバンで3つのくにがきました。フランス、アメリカ、かんこくのひとたちがきました。フランスのひとはおかねかたべものカードをみせてくれました。あめりかのひとはちずをみせてくれました。かんこくのひとはにんぎょうをみせてくれました。フランスパン、クロワッサン、ちーず、サッカー、アニメ、マンガ、ワイン、おかね、をみせてくれました。フランスがいちばんおもしろかったです。
 ・私は、12月5日水曜日にワールドキャラバンをやりました。ワールドキャラバンで一番良かった国は、アメリカです。理由は、アメリカのことを楽しく教えてくれたからです。教えてくれた人は、アメリカのジョナサン・マイケルズさんと言う人でした。すごく、やさしい人でした。後、日本語がすごく上手だったのでかなりびっくりしました。去年のワールドキャラバンでは、ペルーとガーナとパングラデシュの人達が来てくれました。今年は、アメリカとフランスとかんこくの人達が来てくれました。らい年は、どこの国の人か来るか楽しみです。

先生の感想

・外国の方と交流ができるワールドキャラバンは、異国の文化を知るいい機会だと思っています。講師の方の民族衣装は特に興味を引くもので、朴さんのチマチョゴリに児童生徒たちは興味津々でした。今回は韓国、フランス、アメリカという馴染み国だったこともあり予備知識を持って積極的に活動していました。チヂミ作り、フランス流パフォーマンスやにらめっこ、スクエアダン

ス、英語のじゃんけんなど、児童生徒たちは大喜びでした。とても貴重な体験をすることができました。講師の方々も積極的にかかわってくださり感謝いたします。講師の方々の熱心さにたよることの多い活動ですが、来年度もぜひ実施したいと思います。

成果と課題

- ・事前学習のときから興味や関心をもって取り組み、外国の方々との交流活動に期待をもって意欲的に取り組むことができた。
- ・講師の方の国について調べたことを伝えたり、質問したことに誠実に対応していただき満足していた。
- ・披露していただいた民族衣装、写真、紙幣や硬貨などは、興味を引くものであり、大喜びであった。
- ・お国のチヂミの作り方も教えてもらい、できあがったものはとてもおいしく感激していた。
- ・外国の方々との交流する機会がもて、気持ちが通じることの喜びや異文化を感じることができた。
- ・後半は、3つのグループに分かれ、そのグループの実態に合った内容で活動でき、交流に深まりが見られた。
- ・講師の方3名がきてくださり、それぞれの国について興味関心がもてたので、それを発展できるような時間や機会を作り、異国の方々ともっと交流を深めていきたい。
- ・3つのグループに分け実態に合った活動を行ったので、交流が身近に感じられたが、少し時間が不足だったグループもあった。今後も、日程やグループ分けや活動内容について工夫し、児童生徒の期待に応じられるようにしたい。
- ・このような交流を生かした学習を計画的に行うように年間計画等に入れて取り組みたい。
- ・国際人としての資質を養う上で有効と思われるこのような取り組みが、さらに充実するように講師の方との打合せを密に行って、よりよい交流にしていきたい。